

平成25年度 第4回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

1. 日 時

平成25年8月5日（月） 午後1時30分から午後2時40分

2. 場 所

下関市立市民病院 2階 講堂

3. 次 第

- (1) 開会
- (2) 議題
- (3) その他
- (4) 閉会

4. 配布資料

- ・資料1 地方独立行政法人下関市立市民病院中期計画の変更認可申請に対する意見について（写）
- ・資料2－1 地方独立行政法人下関市立市民病院中期計画の変更認可申請について（写） 変更内容
- ・資料2－2 地方独立行政法人下関市立市民病院中期計画の変更認可申請について（写） 変更理由
- ・資料2－3 地方独立行政法人下関市立市民病院中期計画の変更認可申請について（写） 中期計画新旧対照表
- ・資料2－4 地方独立行政法人下関市立市民病院中期計画の変更認可申請について（写） 地方独立行政法人下関市立市民病院中期計画（変更案）
- ・資料3 意見書（案）
- ・資料4 地方独立行政法人下関市立市民病院平成24事業年度に係る業務実績に関する評価結果（案）

5. 議事録（概要） ※次頁以降

平成25年度第4回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会の議事概要

1. 開催日時

平成25年8月5日（月）13時30分～14時40分

2. 開催場所

下関市立市民病院2階講堂

3. 出席者

- ・ 下関市立市民病院評価委員会
弘山委員長、林委員、杉浦委員、飯野委員、佐々木委員
- ・ 下関市立市民病院
小柳理事長 ほか
- ・ 下関市
国重副市長、綿谷病院事業部長、内田病院管理課長 ほか3名

4. 内容

(1) 地方独立行政法人下関市立市民病院中期計画の一部変更について

- ・ 法人から下関市立市民病院中期計画の一部変更の内容について説明

【本件について、委員からの質疑応答なし】

【委員長名で市長に対して、本件については「適当である」旨、回答する。】

(2) 平成24事業年度の業務実績に関する評価について

- ・ 法人から平成24事業年度の財務諸表及び事業報告書、業務実績報告書の訂正箇所について説明
- ・ 事務局から評価結果全体の構成（概要）、小項目評価の内容について説明

質疑応答・意見等（○委員発言 ●法人発言 ■事務局発言）

【小項目評価】について

- 全体に言えることであるが、病床利用率とか、計画どおりに行っていないものが「3」の評価で良いのか、実際は「2」の評価となる。第2の業務運営の改善及び効率化に関する事項の大項目評価を見ると「A」評価になっているが、ちょっと違和感がある。

（項目番号31番と32番について、）経費の削減についても、現在、確かに削減に取りかかっているため、評価は「3」になっているが、「3」

で良いのか「2」の評価ではないかと思う。

- 項目番号の31番と32番のことか？
- 費用の削減について、具体的にいくら削減するのか記載していない。「削減する。」としか記載していない。5段階評価の中で、「3」の評価は、達成度は100%出来たというのが本来の基準なのかと思う。少し出来ていないものは「2」だと思う。かなり出来ているものは、「4」の評価なのかなと思う。
最終的には経費削減は財務と絡んでくると思うが、収入と財務について、収入が上がれば当然、財務は増える。この項目には少し違和感がある。
- 大項目評価が「A」というのはどうかということか？
- そのとおりである。
- 他の委員は如何か。違和感があるという意見であるが。
- 先ほどの意見とほぼ同じであるが、最後の4つ目の大項目評価（予算、収支計画及び資金計画）が「C」評価であるのに、それを達成するために他の42項目があるということであれば、厳しめの評価で良いと思う。
- 年度計画にきちんとした目標が記載されていないので、評価がしにくい。
- 第1から第3までの大項目評価が「A」評価なのに、最後の第4の大項目評価が「C」であるのはおかしいという意見であり、具体的な記載がないということでもあるので、項目番号の31番と32番について、「3」の評価を「2」に下げたいと思う。
- 具体的にいくら削減するという目標が無かった。実際は予算管理をしているはずなので、それに対してどうだったか、明確な答えがなかった。達成できていないという評価になると思う。
前回の評価委員会では、努力していることで評価を「3」としたが、ちょっと甘すぎた。

- 各委員から同じ意見が出されたので、小項目番号の31番と32番について、「3」の評価を「2」に修正する。
- 事務局の方で、項目番号の31番と32番の評価が替わったので、大項目評価がどうなるのか確認してもらいたい。

【大項目評価】について

【本件について、委員からの質疑応答なし】

【全体評価】について

- 先ほどの小項目評価で項目番号の31番と32番の評価が「3」から「2」に下がったため、3ページの「大項目評価の結果」の「2 業務運営の改善及び効率化に関する事項」の評価が「A」から「B」に変更になる。「B」は「概ね計画どおり進んでいる。」という内容である。最終的には訂正したものを委員に配布したい。
- 最後の「4 予算、収支計画及び資金計画」について、厳しい評価をいただいた。計画を下回ったのは確かであるが、事業収益は昨年と比較しても伸びており、計画よりも増えている。一定の評価はいただきたい。努力もしてきた。ここの評価項目は1項目だけであり、例えば、収入が増えたとか、何項目かに分かれていれば、評価出来るところは評価していただかないと、病院側のモチベーションが下がってしまう。
- 年度計画以前に、中期計画を立てる時に決めてしまった項目である。トータルで言うと、記載しているとおりであり、収支計画及び資金計画については、「2」としか認めようがない。言われることは判るが、収益が上がっていて経費の削減が出来ていれば、評価のしようがあるが、評価のしようがない。
- 評価委員会としては、この項目で評価するしかない。
- これ以前に、中期計画を立てた時の委員会で決まったものではないかと思う。厳しい評価かなと思うが、以前の状況も聞いているので、かなり厳しい状況から始めているのは判る。看護師が減った状況も知っている。それ

から見るとかなり改善している。ただし、客観的に見て、かなり厳しい状況である。全般的に言うとかかなり努力しているのは見える。十分評価は出来るが、全体評価としては、先ほど言ったように「計画よりやや遅れている。」となる。

- 中期計画そのものが適正だったかどうかという問題はあるが、コメント欄に入れてもらえないだろうか。
- 書くとすれば、総評の欄に「収益自体は上がっており、外来・入院単価も上がっている。」と記載することになる。
- 対外的に公表されるので、職員に対して、今回の決算は駄目であったけれども、収益は上がっており、上り調子であることを示してモチベーションを上げたいという気持ちはある。
- モチベーションを下げないように、もう少し頑張ってくださいということで、「病院の収益は上がっている。」ことを、総評の欄か、又はコメントに入れたい。
- コメントのところが一番見られるのではないか。
- 評価としては「2」であるが、コメント欄に入れたらと思う。
- 入院も外来も単価は上がっている。医業収益自体は上がっているが、計画で評価すると厳しい状況である。
- 収入がかなり改善しているとか、先行して出ている経費があるとか、総評の中に記載出来るのではないか。
- 医療のほとんどが、経過よりもアウトカムが重視されているので、厳しくはなる。そういう見られた方をするのは間違いない。以前よりは改善されているという書き方をどうするか。今は財務につながっていないが、期待するとかいう書き方を入れるか。
- 総評の最後のところに、良くなって来ていることを入れたいと思う。

- 特筆すべきことがいくつかあると思う。例えば、看護師は足りないと言っても、相当努力して集めた。単価も上がっている。
- 7対1看護は平成26年度を目指すということなので、平成25年度の事業としてはまだである。厳しい状況であると思われるが、平成24年度に比べるとかなり良くなっていると期待したい。モチベーションが上がるような書き方にしたい。
- 次年度以降の目標はどうなっているのか。年度計画はどうなっているのか。
- 平成25年度の年度計画については既に作成しているが、今回の意見もあるので、一部修正したい。
- 7対1看護を取ってしまったら、7対1看護の人員確保の項目は、その後はずっと「A」になるのか。今の急性期を見ると、5対1を想定している。いろいろなアプローチを地域の病院が看護学校や大学にして来ている。もう少し先を見据えておいた方が良い。7対1は最低条件であり、そこから先の一部、5対1を見越した学校とのパイプを持とうとしている。3年後には想定しても良いと思う。年度計画も少し変えた方が良い。
- 来年の診療報酬の改定で、変わる部分がかかなり出て来る。厚生労働省は2025年モデルを既に出している。2015年が中間である。相当見直しがある予定である。来年度以降、出て来る可能性がある。がん拠点病院も見直しがある。急性期病院の位置づけ、一般病床という位置づけはないので、急性期と亜急性期という位置づけをしている。はっきりと変わって来る。DPCでは検査入院だけでカウントするのかという意見もある。少し早めにやらないときつい。
この1年半でかなり努力されているが、先ほどの北九州の例でもあるように、かなりのペースで走り出している。建替えや救急センター化など、かなり特化している。この病院が何をやるのか、戦略的に決めないと厳しい。要望に全て答えるのは判るが、それではいけないのかなと思う。もっと重点化を含めてやってもらいたい。市民病院としての役割があり、全てを黒字でということは言えないが、そのような気がする。他の大手の病院はかなりハイピッチで体制を整えているのは確かである。
4年間の計画については段階を踏んで、どこまでやるか明確に決めないときつい。そういう意味では、少し厳しい評価になった。

- 以上で、評価委員会の評価は全て終わったが、今回の評価結果に対して法人から意見等はあるか。
- 項目番号の43番について、気になる箇所が1つある。コメントのところで、「決算収支と現金収支がともに大きく下回った。」とある。確かに現金収支は大きく下回っているが、決算収支については違うものと違うものとの比較になっているので、落ちるのは当然と思っている。その部分のコメントが気になる。
- 表現の仕方ということですね。先ほども言ったように、収入は増えている。確かに書き直した方が良いと思う。総評は厳しい書き方はしていないと思う。「大きく」は削りましょうか。業務全般について、法人の経営努力を入れるか。収入が増えたとか。単価が上がったとか。努力は見られるものということで、判断理由だけ読んで後を読まなかったら厳しい評価と思われる。
- 法人からの意見については、表現を一部修正したいと思う。
- 法人として努力していることをどこかに入れたら良いと思う。
- 全体評価の中に入れることにしたい。
- ハードに働いている職員から見たら、医業収益自体は増えていることを、どこかに入れてもらえれば労が報われると思う。
- その他に、法人からの意見は無いようなので、本日予定していた審議は全て終了する。

(3) その他

- ・事務局より、今後の予定（市長並びに議会への報告等）について説明